

令和3年度農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）事業

事業主体名 鹿児島県立加世田常潤高等学校

1 目的

農業に関する知識や技術を修得させると共に、就農・新商品開発の意識を高め、幅広い農業観や勤労意欲を育むことで、農業関係への進路促進を図る。

2 実施状況

(1) 中学生向け農業体験学習の実施

「農業」のプロデュースの一環として、中学生を対象とした押し花キーホルダーの製作や、加世田常潤高校内の360°写真・動画によるバーチャル農場見学を行った。

キーホルダー製作では花の美しさに気付き、デザインの感覚も養える体験として好評だった。また、肉用牛や黒豚の360°動画が中学生の食いつきがよく、農業のすばらしさの一端を体験してもらうことができた。

担当した生徒達も、体験学習の準備や説明を通じて、魅力の伝え方を学ぶことができた。

(2) 常潤祭での生産物販売

コロナ禍ではあったが、全校生徒・職員で協力して感染症対策も徹底したうえで、地域の有機野菜生産農家やキッチンカー等も誘致したイベントとして常潤祭を開催した。そのなかで、野菜・果樹・畜産専攻班それぞれの生産物や加工品を販売した。イベント運営や店舗運営を通じて、生徒の企画力やコミュニケーション力を高めることができた。

(3) 営農励ましの会

関連市町村の農政関係者を来賓に招き、農業大学校や農業関連産業・食品産業に進学・就職する卒業予定者の門出を激励した。

7人の生徒達が卒業後の抱負を語ることで、1・2年生の就農や進路意識を高めることができた。

3 今後の課題、取り組み

コロナ禍の中ではあったが、可能な限り体験による学びの機会確保に積極的に取り組んだ。今後も時勢に合わせながら、農業技術の習得や流通経路や消費者動向を見据えた販売手法の学習にも力を入れていきたい。併せて、地域農業の理解を深める機会も確保し、将来の地域産業や農業の担い手育成に努めたい。



【図1 押し花キーホルダー製作体験】



【図2 バーチャル農場体験の様子】



【図3 常潤祭の様子】



【図4 営農励ましの会】